第３回　南島原市下水道使用料等審議会次第（会議録）

日時：令和６年１２月２４日（火）

　　　午後１時３０分～午後３時

会場：西有家総合学習センター

カムス　３階会議室

１　開会

水道総務課長から開会のことば

２　議事

会長が次第に沿って、司会進行

|  |  |
| --- | --- |
| 〔会長〕 | ・１）【第１回審議会内容の確認について】、事務局より説明をお願いする。 |
| 〔水道総務班長〕 | （第３回審議会資料１ページから２ページを説明） |
| 〔会長〕 | ・意見や質問はあるか。 |
| 〔委員〕 | ・雲仙市は南島原市よりも使用料が高いようですが、雲仙市は既に料金統一をしているのか。 |
| 〔環境水道部長〕 | ・雲仙市は、年数は忘れたが改定をされている。それで金額が本市よりもよりも上である。 |
| 〔会長〕 | ・次に、資料３ページの【本日の審議の目的】から、資料８ページの【将来予測の結果】までは、内容的に切らない方がいいので、一括して説明をお願いする。 |
| 〔水道総務班長〕 | （第３回審議会資料３ページから８ページを説明） |
| 〔会長〕 | ・意見や質問はあるか。 |
| 〔委員〕 | ・財源を確保するため、地方債を借りるとしているが、借入れを行うと赤字が膨らむが大丈夫なのか。 |
| 〔水道総務課長〕 | ・地方債としての借入れは、建設改良費の支払いのために行う。  ・建設改良費の場合、国からの補助が約５０％あり、残りの５０％を起債する。これについては今後も継続していくつもり。しかしあくまでも借金なので経営を圧迫しないようバランスを考え借りていく。 |
| 〔環境水道部長〕 | ・地方債は借り過ぎてしまうと残高が増えるので、財政計画を立てながら行っている。 |
| 〔会長〕 | ・色々な案を作ってもらったが、事務局として南島原市としては「この辺がいいんじゃないか」という案はあるのか。 |
| 〔水道総務班長〕 | ・財政部局から基準外繰入れを少なくするよう言われている。  ・今回のシミュレーションから言うと、料金改定を定期的にしなければならないと考えている。  ・人口減少と共に使用料収入は減少するので、使用料だけでなく一般会計からの繰入れを行い、バランスを考えながら事業をやって行かなければならないと考えている。 |
| 〔会長〕 | ・現在、下水道の新規加入者は、年間どれくらいあるのか。 |
| 〔水道総務課長〕 | ・年間約２０件ある。  ・以前、面整備を進めている時は、年間２００件から３００件程度の加入があったが、現在、面整備は終了している。 |
| 〔委員〕 | ・４つの案が示され、利用者からみれば①番がいいと思うが、運営を考えれば定期的な改定をして、繰入れをして行く④番の考えが将来的にはいいと思う。  ・事務局では、令和８年に統一して令和１３年に値上げを考えているようだが、その通りなのか。 |
| 〔水道総務班長〕 | ・その点については、次のところで詳しく説明したいと考えていた。  ・事務局としては、まずは料金統一だと考えている。理由は、統一せずいきなり値上げをすると、高いところからすれば「安く済んで良かった」と思えるが、低かったところからすると、上り幅が大きいので不公平感が拭えない。 |
| 〔会長〕 | ・次に、５）【将来予測の結果に対する考察について】事務局より説明をお願いする。 |
| 〔水道総務班長〕 | （第３回審議会資料９ページを説明） |
| 〔会長〕 | ・意見や質問はあるか。 |
| 〔委員〕 | ・まずは統一することが目的だろうから、口之津と西有家の料金を目安に深江の料金をどうする方がいいのか考えていくことでいいと思う。 |
| 〔委員〕 | ・料金改定だが、当初の公共と農業集落の出資の考えは関係なく、料金統一をするということは大丈夫なのか。 |
| 〔水道総務課長〕 | ・合併して、令和２年から公営企業会計として全区域の下水道を一本として会計処理をしているので、統一したいと考えている。 |
| 〔環境水道部長〕 | ・補足だが、先ほど課長が全事業と言ったが、この中に深江のコミュニティ･プラント事業があり、これは一般会計なので、コミュニティ･プラントを除く４事業になる。  ・料金については、南島原市の施設を使うので、その同じ施設を使用するための使用料として支払ってもらうという観点から、今回料金統一をしたいと考えている。  ・合併協定書の中に「使用料については合併後調整する」とあるので、今回まずはそれを進めていくというように考えている。 |
| 〔会長〕 | ・次に、６）【料金体系の統一について】、説明をお願いする。 |
| 〔水道総務班長〕 | （第３回審議会資料９ページから１０ページを説明） |
| 〔会長〕 | ・意見や質問はあるか。 |
| 〔委員〕 | ・事務局から色々な案を示してもらったが、事務局としてはどの案が最有力と考えているのか。 |
| 〔水道総務班長〕 | ・色々な案を出させてもらった。例えば、一般家庭の平均の２０㎥で比較した時に、一番高いのが深江のコミュニティ･プラントで、二番目に口之津・南有馬の公共下水、そして一番安いのが西有家の農業集落排水という順番になる。  ・どのように統一していくのか、ご判断は事務局ではなく審議会委員の意見を幅広く聞いたうえで、みなさんで決定していくものと理解している。 |
| 〔委員〕 | ・口之津、南有馬の中間ぐらいのところで合わせてもらった方がいいと思う。 |
| 〔委員〕 | ・資料のシミュレーションでは、令和１３年度に２５％の値上げをして、その後も定期的に２０％程度上げていくとなっている。  ・令和８年の料金統一時に、少しでも上げておけば、その後の改定率の上り幅が少しでも小さくなると思うが。 |
| 〔水道総務班長〕 | ・事務局として、まずは料金統一だと考えている。  ・理由は、例えば統一せずいきなり値上げをすると、高いところからすると「安く済んで良かった」と思えるかもしれないが、低かったところからすると、上り幅が大きいので、不公平感が拭えないと思う。まずは料金統一が先だと考えている。 |
| 〔委員〕 | ・今回は統一ということで、高いとこは下げる、低いとこは上げる、まずプラスマイナスゼロということが統一だと思う。  ・私の中で統一とは、上下のバランスを取ってスタートラインに着くといった解釈でいる。 |
| 〔委員〕 | ・料金の統一ということで、公共に合わせた場合、農業集落排水に合わせた場合、コミュニティ･プラントに合わせた場合、それぞれの場合で、全体の収入がどうなるのか試算を見てみたい。 |
| 〔水道総務班長〕 | ・口之津、南有馬の公共下水道に合わせた場合、０.８％の増加といった試算は行っていて、対前年度でほぼ変わらないといった試算をした。  ・試算については、次回の審議会において資料として提出したい。 |
| 〔会長〕 | ・以上をもって、本日の議題を終了する。 |

３　今後の予定

|  |  |
| --- | --- |
| 〔水道総務課長〕 | ・次回の審議会の日程。  　令和７年１月２８日（火）　午後１時３０分から  　場所　西有家庁舎３階　大会議室  ・正式には文書にて案内する。 |

４　閉会

|  |  |
| --- | --- |
| 〔水道総務課長〕 | ・第３回　南島原市下水道使用料等審議会を閉会。 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（１４時５０分終了）